

## 盛況の公開シンポジウム「名古屋の観光まちづくり」

すでにレポートでも案内したように、12月12日(水)13時から中区役所ホールにて公開シンポジウム「名古屋の観光まちづくり」を開催した。平日の午後であり、大きな会場にどれだけ参加があるか不安であったが、300名が参加して準備した資料が底をついた。

シンポジウムは本学の有賀人間文化研究科長の司会のもと、本学の今川



理事(残念ながら、西野理事長は欠席)と共催の日本政策投資銀行の川下東海支店長の挨拶、藻谷浩介氏による基調講演とつづいた。基調講演は年間400回の講演をこなす講師らしく、多くの統計を使って、「クイズ」も取り入れた手慣れたものであった。

休憩のあと、私がコーディネーターをつとめてパネルディスカッションが行われた。パネリストは本学非常勤講師もお願いしている須田氏、スぺーシアの井澤氏、名古屋市の別所氏、本学の服部氏、それに藻谷氏である。まず4人のパネラーに10分発言してもらい、休憩時間中に提出された20近くの質問を同僚の吉田さんが整理して、



藻谷氏に回答してもらった。なにせ時間が制約されており、こちらから質問や論点を提示して答えてもらうのが、やっとであった。会場の都合で時間厳守の閉会が求められていたが、16時ぴったりに終了できた。メディアからも取材があり、概ね参加者からも好評であり、私にとっての「一大イベント」がまずは無事に終って、本当にほっとしている。協働・協力していただいた教職員、研究員・学生の皆さんに感謝するばかりだ。

(2007年12月15日 記)